

学校における働き方改革特別部会発表資料

教員勤務実態調査（平成28年度） 『教員のストレス状況に関する分析について』

平成29年11月6日

教員勤務実態調査委託事業【メンタルヘルス】研究チーム

筑波大学：松崎一葉、斎藤環、市川政雄、

笹原信一郎、大井雄一、平井康仁、

道喜将太郎、高橋司、白木渚

本日の流れ

- ストレス状況に関する評価項目について
- 職種別データ

以下、教諭のみのデータ

- 年齢別・性別
- 勤務時間
- 部活動

評価項目

- K6 抑うつ、不安を評価する指標
6項目、5件法、5点以上で高ストレス状態を示唆
- BSJS 仕事の負荷を評価する指標
20項目、4件法
- SOC 人生に対する首尾一貫した感覚を評価する指標
13項目、7件法
- AIS 不眠を評価する指標
8項目、4件法、6点以上で不眠を示唆

1. 職種別データ

小学校教員

	K6	BSJS						SOC				AIS
	K6得点	ストレス増強要因			ストレス緩和要因			総得点	下位項目			AIS得点
		量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援	SOC総得点	把握可能感	処理可能感	有意味感	
校長 (n = 304)	3.57	2.37	2.33	1.67	3.33	3.53	3.06	66.1	24.5	19.0	22.6	4.20
副校長・教頭 (n = 337)	4.47	2.97	2.52	1.77	2.82	3.10	2.96	62.9	23.8	18.4	20.8	5.20
教諭 (n = 5,402)	5.49	3.03	2.50	1.83	2.76	3.14	3.07	58.5	21.5	17.2	19.8	5.33
講師 (n = 587)	5.26	2.59	2.29	1.70	2.65	3.15	3.10	58.1	21.4	17.0	19.7	4.97
養護教諭 (n = 275)	5.34	2.49	2.28	1.85	3.00	3.01	3.00	58.6	21.4	17.1	20.1	4.98
栄養教諭 (n = 68)	5.34	2.74	2.32	1.86	3.08	3.15	2.95	58.1	21.8	16.6	19.8	4.88
教育・研究系 (n = 2,982)	5.13	2.37	2.40	1.98	3.00	3.10	2.82	58.7	22.3	17.3	19.1	4.64

※ 教育・研究系は筑波研究学園都市を対象とした研究より引用

小学校教員

	K6	BSJS						SOC				AIS
	K6得点	ストレス増強要因			ストレス緩和要因			総得点	下位項目			AIS得点
		量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援	SOC総得点	把握可能感	処理可能感	有意味感	
校長 (n = 304)	3.57	2.37	2.33	1.67	3.33	3.53	3.06	66.1	24.5	19.0	22.6	4.20
副校長・教頭 (n = 337)	4.47	2.97	2.52	1.77	2.82	3.10	2.96	62.9	23.8	18.4	20.8	5.20
教諭 (n = 5,402)	5.49	3.03	2.50	1.83	2.76	3.14	3.07	58.5	21.5	17.2	19.8	5.33
講師 (n = 587)	5.26	2.59	2.29	1.70	2.65	3.15	3.10	58.1	21.4	17.0	19.7	4.97
養護教諭 (n = 275)	5.34	2.49	2.28	1.85	3.00	3.01	3.00	58.6	21.4	17.1	20.1	4.98
栄養教諭 (n = 68)	5.34	2.74	2.32	1.86	3.08	3.15	2.95	58.1	21.8	16.6	19.8	4.88
教育・研究系 (n = 2,982)	5.13	2.37	2.40	1.98	3.00	3.10	2.82	58.7	22.3	17.3	19.1	4.64

※ 教育・研究系は筑波研究学園都市を対象とした研究より引用

中学校教員

	K6	BSJS						SOC				AIS
	K6得点	ストレス増強要因			ストレス緩和要因			総得点	下位項目			AIS得点
		量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援	SOC総得点	把握可能感	処理可能感	有意味感	
校長 (n = 285)	3.72	2.38	2.32	1.73	3.31	3.49	3.09	66.2	24.8	19.0	22.3	4.48
副校長・教頭 (n = 314)	4.45	2.98	2.57	1.81	2.80	3.00	2.94	62.1	23.4	18.3	20.5	5.12
教諭 (n = 6,357)	5.69	2.98	2.49	1.91	2.69	3.06	2.95	58.0	21.6	17.0	19.4	5.71
講師 (n = 662)	5.33	2.56	2.30	1.84	2.65	3.12	3.05	57.6	21.1	17.0	19.4	5.19
養護教諭 (n = 282)	4.88	2.43	2.32	1.91	3.01	3.07	2.92	58.9	21.6	17.1	20.2	4.66
栄養教諭 (n = 29)	6.53	2.85	2.48	2.06	2.90	2.86	2.48	53.3	19.4	15.1	18.8	4.67
教育・研究系 (n = 2,982)	5.13	2.37	2.40	1.98	3.00	3.10	2.82	58.7	22.3	17.3	19.1	4.64

※ 教育・研究系は筑波研究学園都市を対象とした研究より引用

中学校教員

	K6	BSJS						SOC				AIS
	K6得点	ストレス増強要因			ストレス緩和要因			総得点	下位項目			AIS得点
		量的負荷	質的負荷	対人関係の困難	裁量度	達成感	同僚上司の支援	SOC総得点	把握可能感	処理可能感	有意味感	
校長 (n = 285)	3.72	2.38	2.32	1.73	3.31	3.49	3.09	66.2	24.8	19.0	22.3	4.48
副校長・教頭 (n = 314)	4.45	2.98	2.57	1.81	2.80	3.00	2.94	62.1	23.4	18.3	20.5	5.12
教諭 (n = 6,357)	5.69	2.98	2.49	1.91	2.69	3.06	2.95	58.0	21.6	17.0	19.4	5.71
講師 (n = 662)	5.33	2.56	2.30	1.84	2.65	3.12	3.05	57.6	21.1	17.0	19.4	5.19
養護教諭 (n = 282)	4.88	2.43	2.32	1.91	3.01	3.07	2.92	58.9	21.6	17.1	20.2	4.66
栄養教諭 (n = 29)	6.53	2.85	2.48	2.06	2.90	2.86	2.48	53.3	19.4	15.1	18.8	4.67
教育・研究系 (n = 2,982)	5.13	2.37	2.40	1.98	3.00	3.10	2.82	58.7	22.3	17.3	19.1	4.64

※ 教育・研究系は筑波研究学園都市を対象とした研究より引用

1. 小括

1. **教諭**と教育・研究系の勤務者を比較すると
量的負荷が高い
裁量度が低い
メンタルヘルスの状態が不良である
いずれも小・中学校に共通

以下

Nが最も多くメンタルヘルスの状態が悪い**教諭を対象**とする

2. メンタルヘルスの状態について

年代別のメンタルヘルスの状態

小学校

	K6得点	SOC得点
20代 (n = 1,233)	5.9	56.1
30代 (n = 1,280)	5.5	58.0
40代 (n = 1,291)	5.2	59.2
50代 (n = 1,433)	5.4	60.0
60代 (n = 104)	4.1	64.0

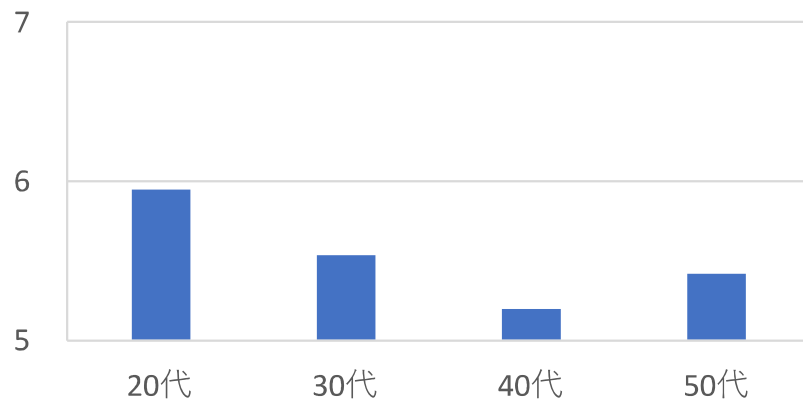
中学校

	K6得点	SOC得点
20代 (n = 1,342)	6.3	55.0
30代 (n = 1,524)	5.7	57.8
40代 (n = 1,485)	5.6	58.6
50代 (n = 1,824)	5.4	59.7
60代 (n = 121)	4.5	62.0

年代別のメンタルヘルスの状態

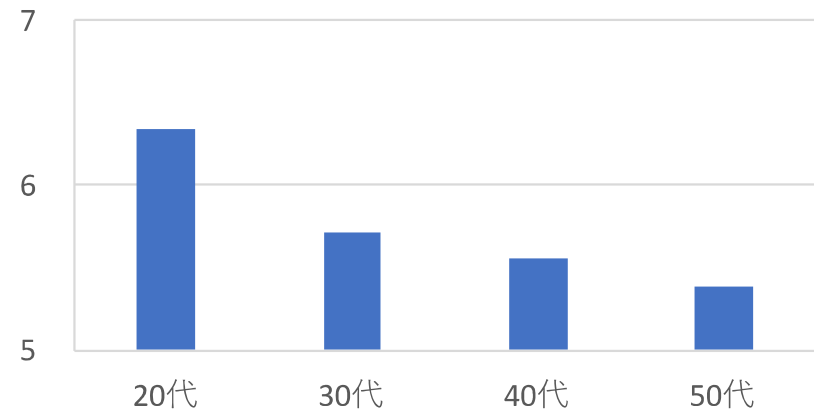
小学校

K6得点



中学校

K6得点



年代別・性別のメンタルヘルスの状態

小学校

		K6得点	K6 \geq 5
20代	男性 (n = 458)	5.5	49.8
	女性 (n = 771)	6.3	57.0
30代	男性 (n = 607)	4.9	43.4
	女性 (n = 669)	6.1	55.9
40代	男性 (n = 509)	5.0	45.3
	女性 (n = 777)	5.3	49.6
50代	男性 (n = 388)	5.1	45.6
	女性 (n = 1,043)	5.5	53.8
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
60代	男性 (n = 54)	3.9	38.9
	女性 (n = 50)	4.3	47.1

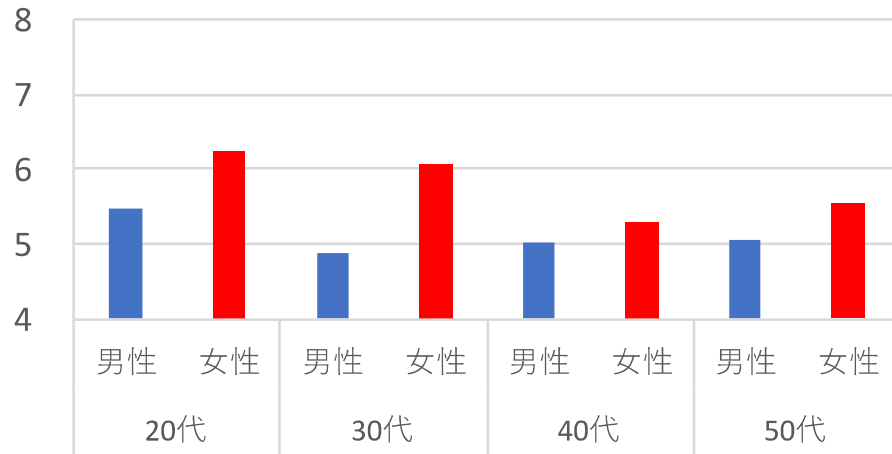
中学校

		K6得点	K6 \geq 5
20代	男性 (n = 755)	5.8	53.1
	女性 (n = 583)	7.1	64.9
30代	男性 (n = 1,001)	5.5	50.9
	女性 (n = 518)	6.0	54.8
40代	男性 (n = 789)	5.3	47.7
	女性 (n = 696)	5.8	52.2
50代	男性 (n = 1,041)	5.3	50.2
	女性 (n = 782)	5.5	51.1
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
60代	男性 (n = 90)	4.6	44.4
	女性 (n = 30)	4.3	48.4

年代別・性別のメンタルヘルスの状態

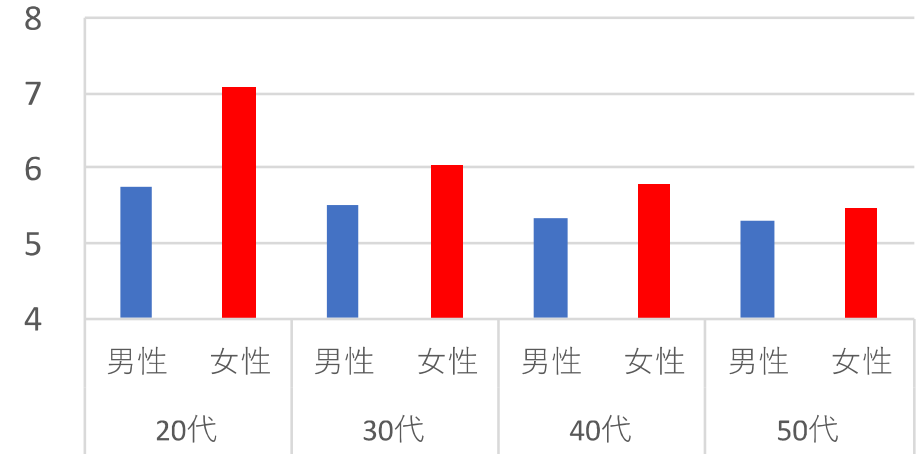
小学校

K6得点



中学校

K6得点



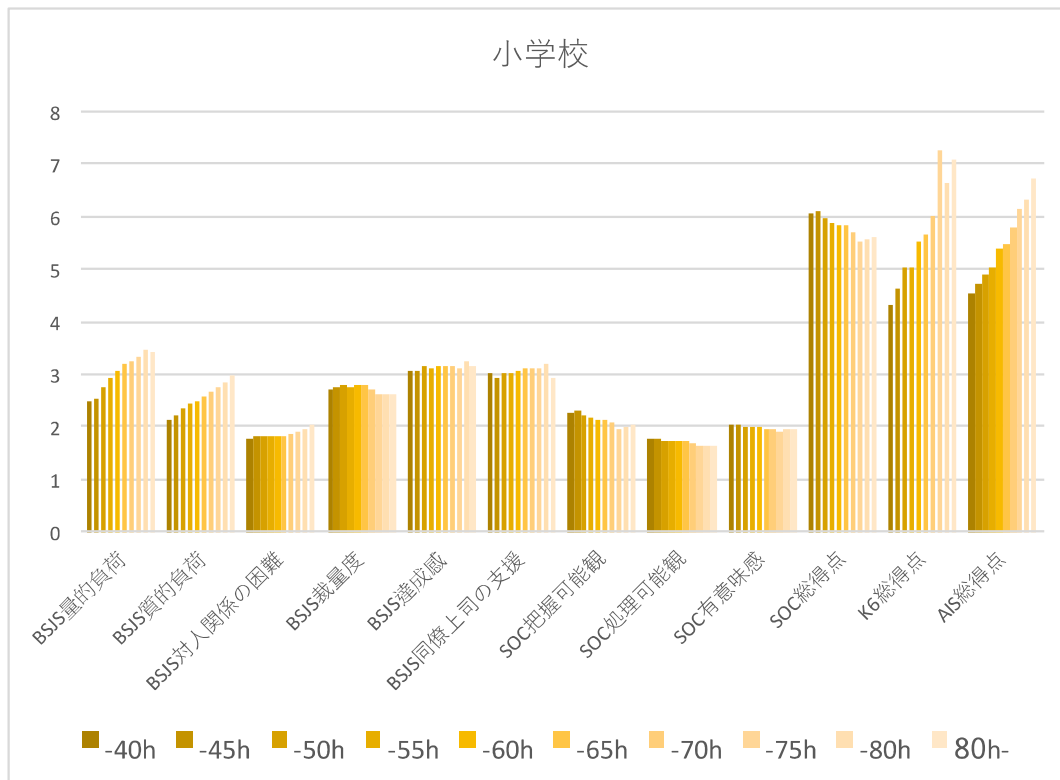
2. 小括

2. 年代別・性別比較

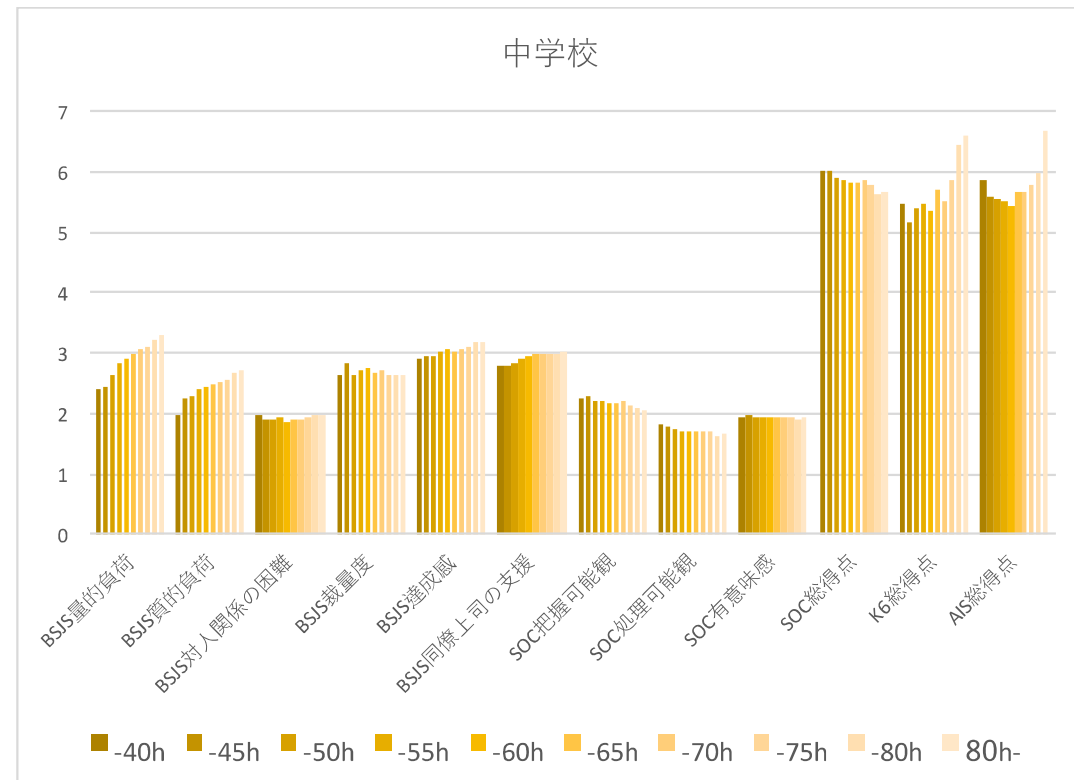
年齢が若いほど、メンタルヘルスの状態は不良
男性と比べ、**女性の**メンタルヘルスの状態は不良
いずれも小・中学校に共通

3. 週勤務時間

週勤務時間別 ストレス状況評価



※ SOCのスケールは1/10



※ SOCのスケールは1/10

週勤務時間別メンタルヘルスの状態 小学校

男性

勤務時間	K6得点
-40h (n = 13)	4.5
-45h (n = 81)	3.7
-50h (n = 279)	4.4
-55h (n = 444)	4.6
-60h (n = 464)	5.1
-65h (n = 326)	5.3
-70h (n = 222)	5.6
-75h (n = 105)	6.7
-80h (n = 53)	6.0
80h- (n = 35)	7.0

女性

勤務時間	K6得点
-40h (n = 29)	4.2
-45h (n = 129)	5.2
-50h (n = 438)	5.4
-55h (n = 841)	5.3
-60h (n = 838)	5.8
-65h (n = 554)	5.9
-70h (n = 308)	6.3
-75h (n = 135)	7.7
-80h (n = 39)	7.3
80h- (n = 23)	7.5

週勤務時間別 中学校 メンタルヘルスの状態

男性

勤務時間	K6得点
-40h (n = 25)	5.2
-45h (n = 76)	5.6
-50h (n = 230)	5.2
-55h (n = 435)	5.2
-60h (n = 556)	5.0
-65h (n = 647)	5.4
-70h (n = 570)	5.2
-75h (n = 466)	5.5
-80h (n = 312)	6.3
80h- (n = 367)	6.3

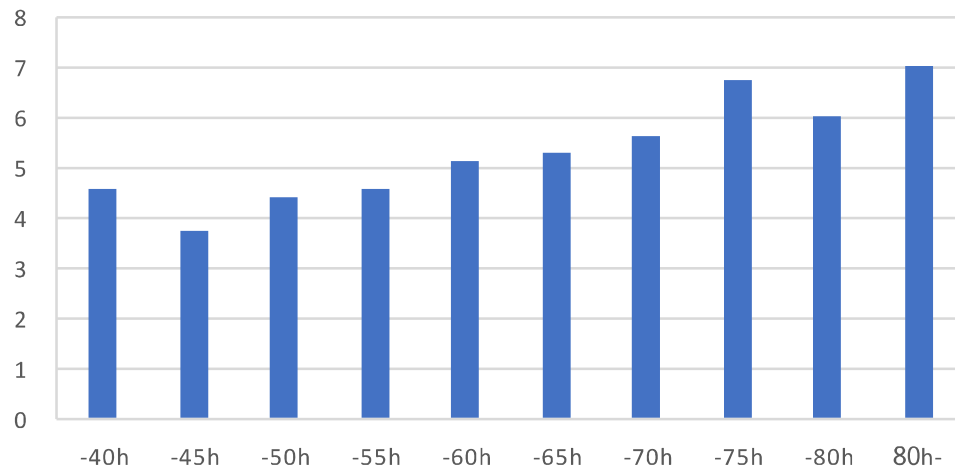
女性

勤務時間	K6得点
-40h (n = 20)	5.8
-45h (n = 73)	4.7
-50h (n = 275)	5.6
-55h (n = 504)	5.7
-60h (n = 485)	5.8
-65h (n = 426)	6.1
-70h (n = 320)	6.0
-75h (n = 223)	6.6
-80h (n = 151)	6.7
80h- (n = 170)	7.3

週勤務時間別 メンタルヘルスの状態 小学校

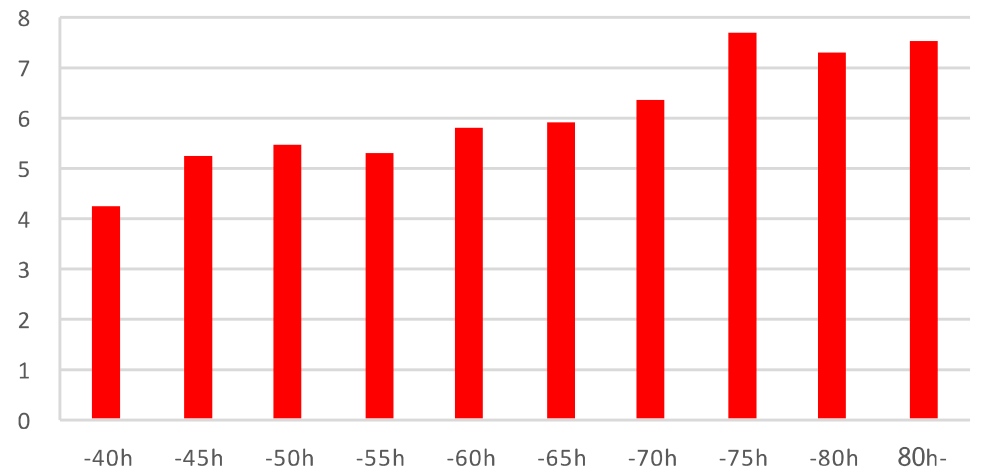
男性

K6得点



女性

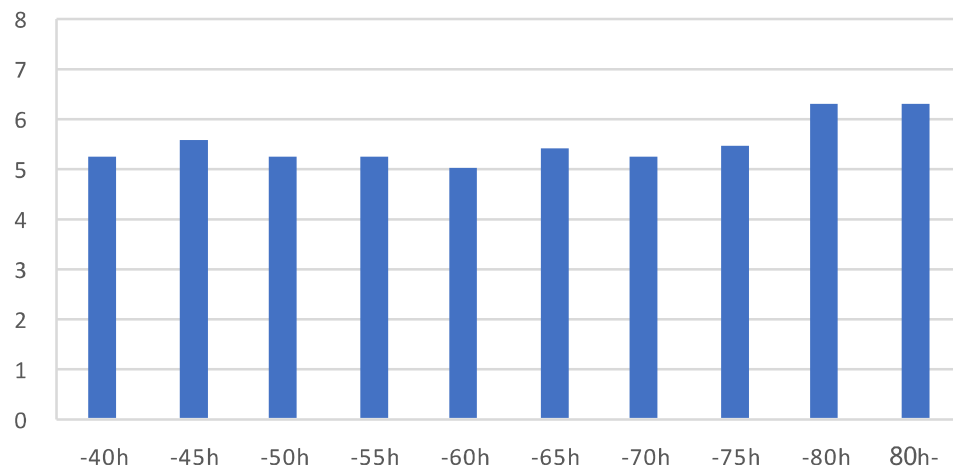
K6得点



週勤務時間別 中学校 メンタルヘルスの状態

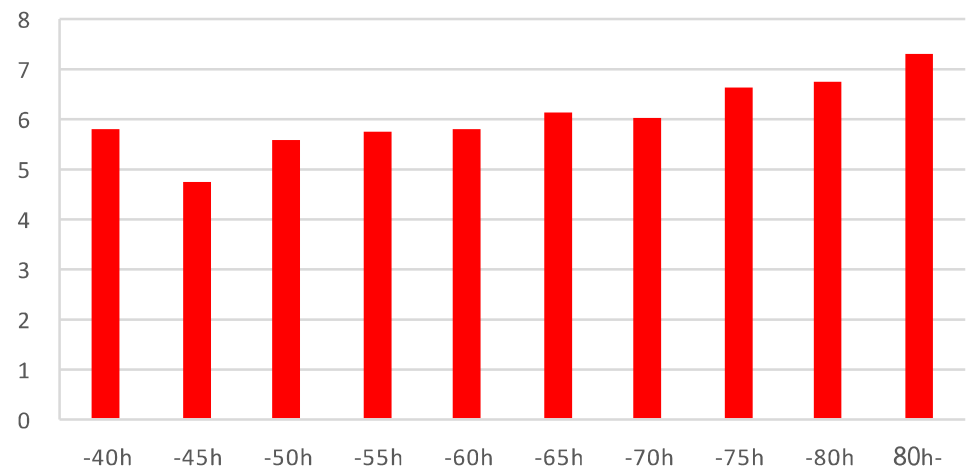
男性

K6得点



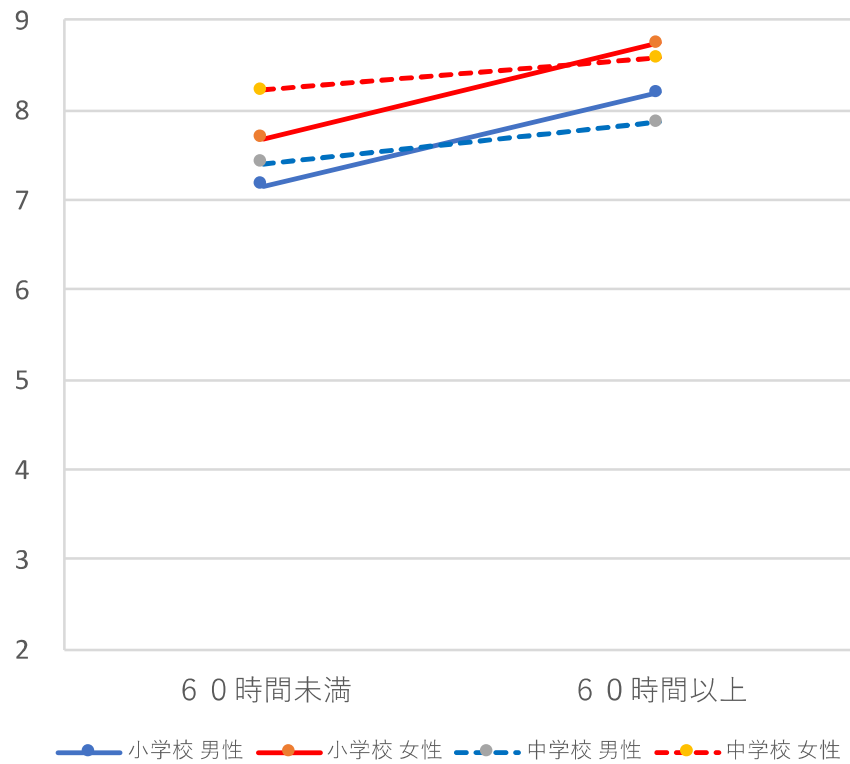
女性

K6得点

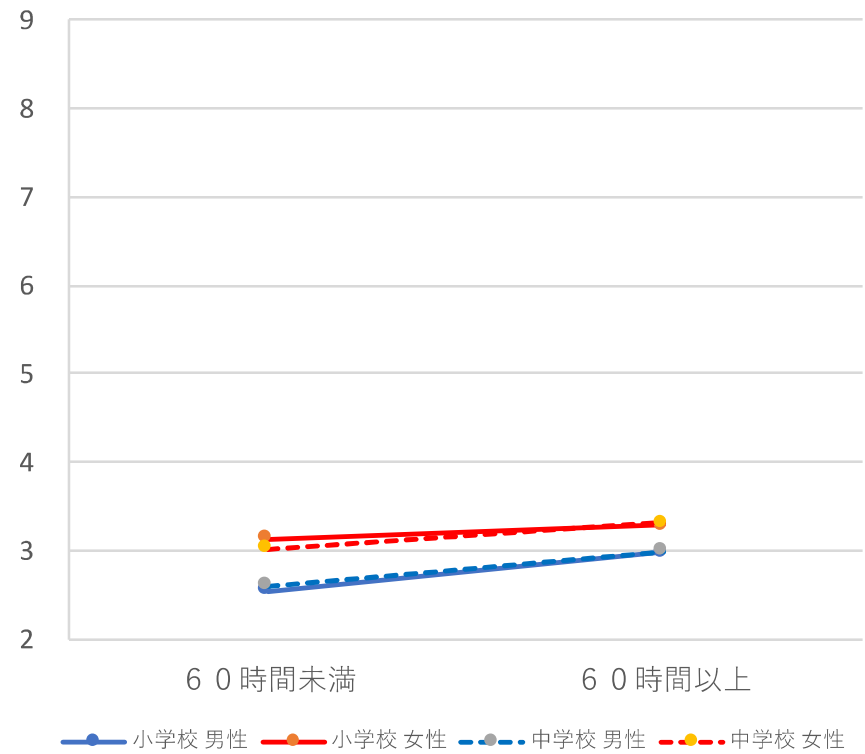


長時間勤務の有無によるメンタルヘルスの状態推移 (SOC別)

K6得点 (SOC<60)



K6得点 (SOC>60)



3. 小括

3-1. 週勤務時間

週勤務時間が長くなるほど量的負荷、質的負荷が高くなる
また、勤務時間依存的にメンタルヘルスは不良となる

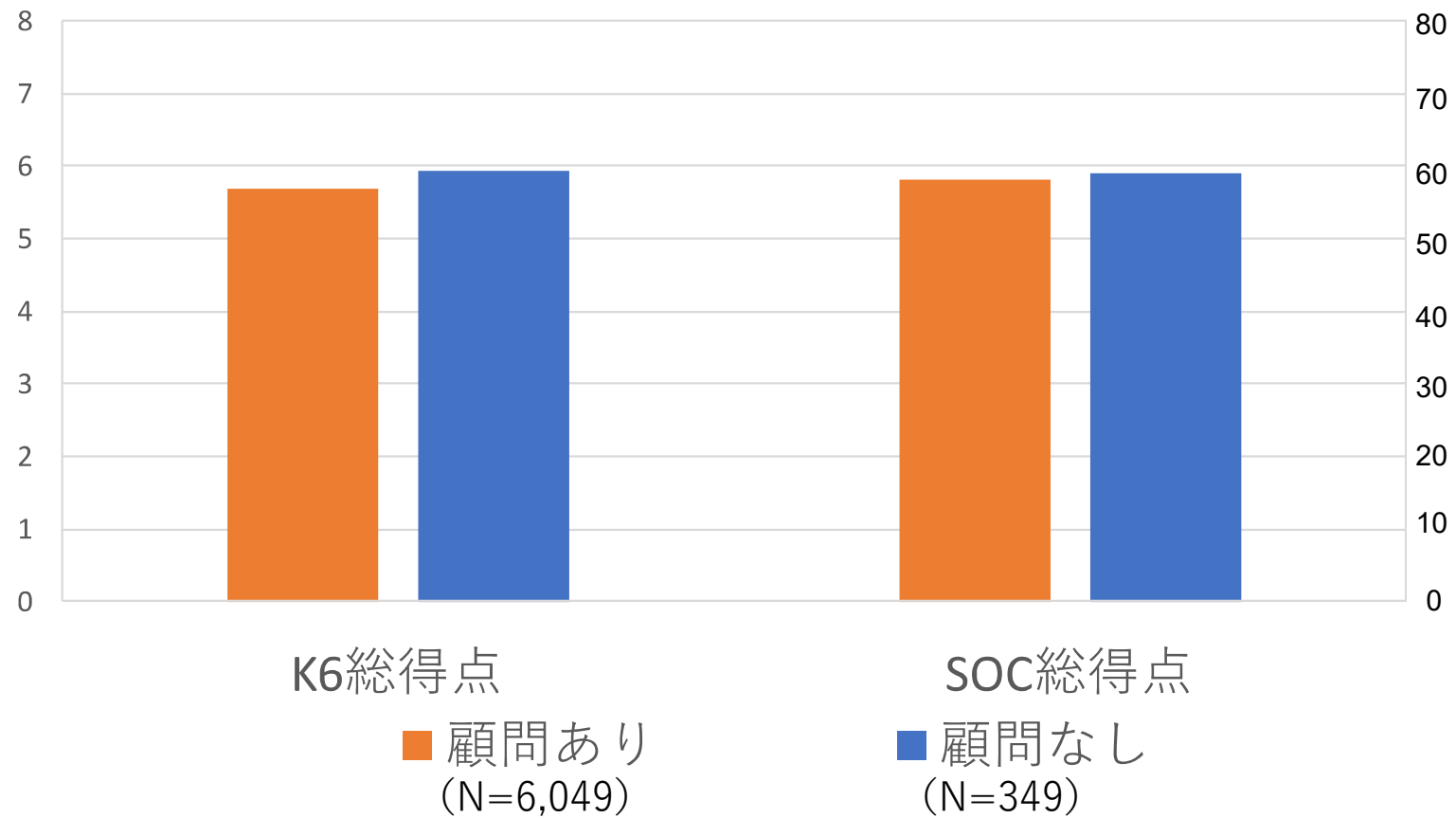
3-2. 長時間勤務時間の有無でメンタルヘルス状態を比較すると

SOC 60点未満では、長時間勤務により悪化し
SOC 60点以上では、長時間勤務の影響を受けにくい

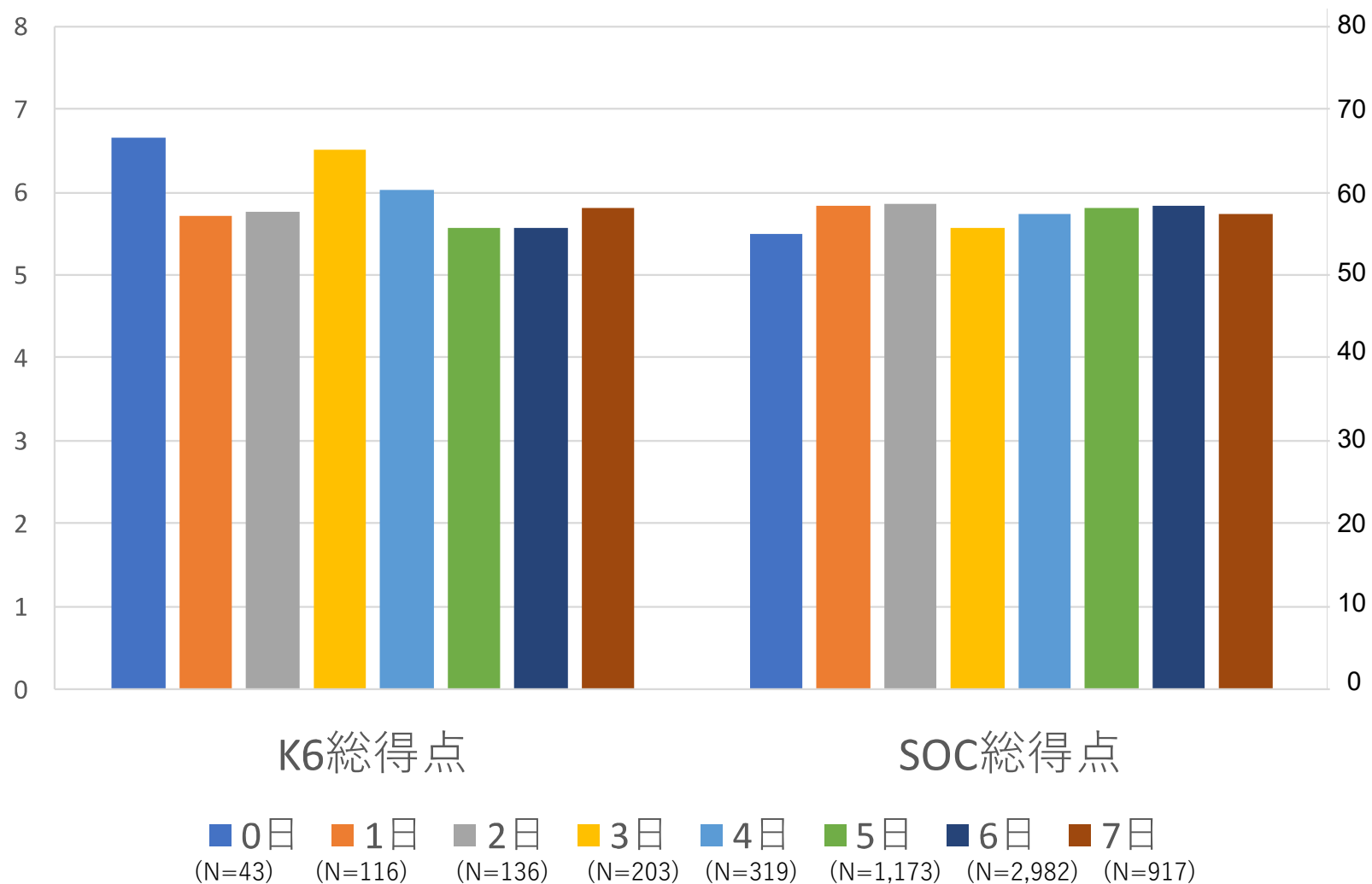
4. 部活動

対象：中学校のみ

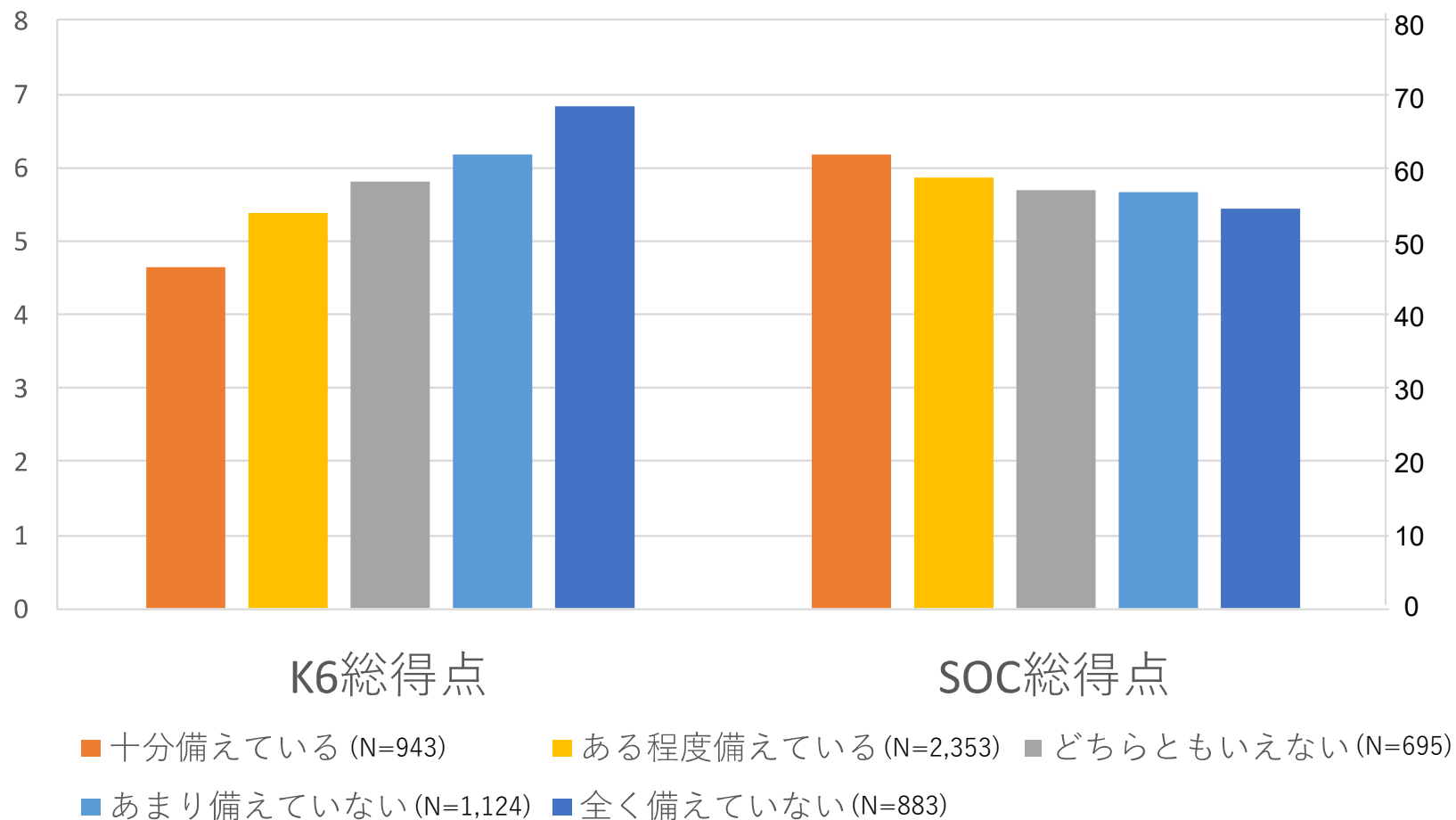
部活動顧問の有無によるストレス状況の評価



担当する部活動の実施日数によるストレス状況の評価

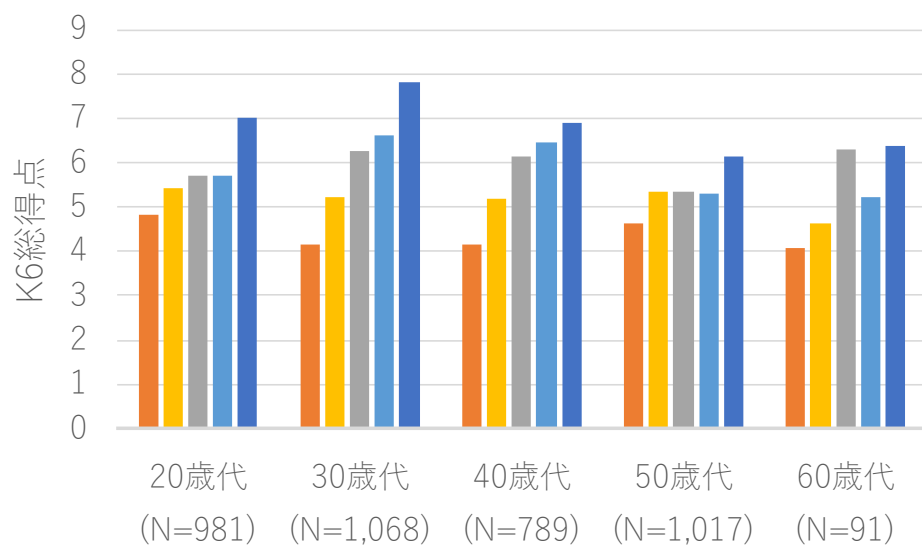


部活動に必要な技能を備えているかによる ストレス状況の評価



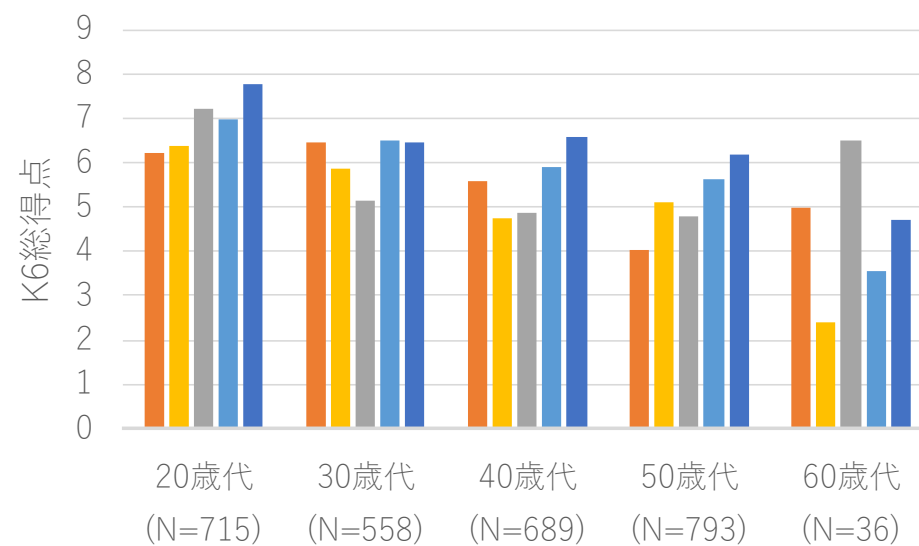
部活動に必要な技能を備えているかによる ストレス状況の評価

年代別（男性）



■ 十分備えている
 ■ ある程度備えている
 ■ どちらともいえない
■ あまり備えていない
 ■ 全く備えていない

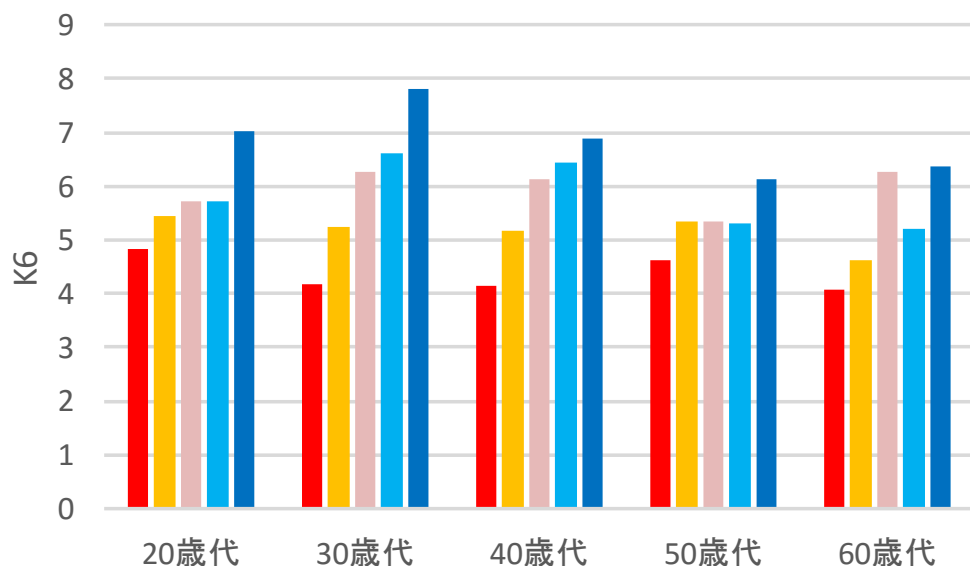
年代別（女性）



■ 十分備えている
 ■ ある程度備えている
 ■ どちらともいえない
■ あまり備えていない
 ■ 全く備えていない

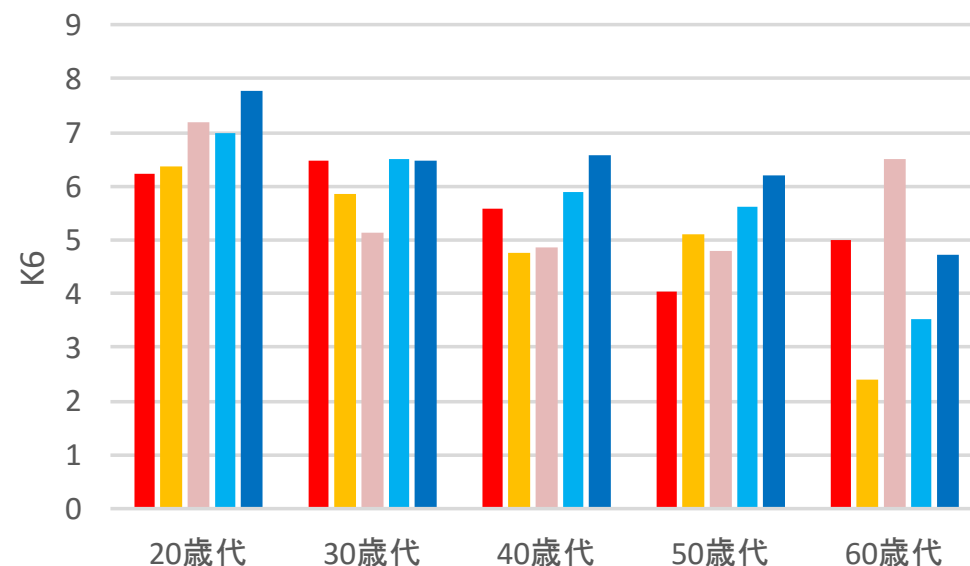
部活動に必要な技能を備えているかによる ストレス状況の評価

男性



■ 十分備えている
 ■ ある程度備えている
 ■ どちらともいえない
■ あまり備えていない
 ■ 全く備えていない

女性



■ 十分備えている
 ■ ある程度備えている
 ■ どちらともいえない
■ あまり備えていない
 ■ 全く備えていない

共分散分析による有意確率

部活動指導知識 $p = 0.026^*$

年齢 $p = 0.077$

共分散分析による有意確率

部活動指導知識 $p = 0.752$

年齢 $p = 0.000^*$

4. 小括

4. 部活動

担当する部活動実施日数とメンタルヘルスとの相関関係は見受けられない

必要な技能を備えていない場合、メンタルヘルス不良となる傾向が認められる

ストレス評価の特徴 まとめ

1. **教諭**と教育・研究系の勤務者を比較すると
量的負荷が高い、裁量度が低い、**メンタルヘルスの状態が不良**
2. **年代別・性別比較**
年齢が若いほど、メンタルヘルスの状態は不良
男性と比べ、女性のメンタルヘルスの状態は不良
- 3 - 1. **勤務時間**
勤務時間が長くなるほど量的負荷、質的負荷が高い
また、勤務時間依存的にメンタルヘルスは不良となる
- 3 - 2. **長時間勤務時間の有無**でメンタルヘルス状態を比較すると
SOC 60点未満では、長時間勤務により悪化し
SOC 60点以上では、長時間勤務の影響を受けにくい
4. **部活動**
担当する部活動実施日数とメンタルヘルスとの相関関係は見受けられない
必要な技能を備えていない場合、メンタルヘルス不良となる傾向が認められる

提言

- 教員のメンタルヘルス状態が、他職種と比較し不良であることが明らかとなった
- 勤務時間が長くなるほどメンタルヘルス状態が不良となるため、勤務時間削減の対応が求められる
- 部活動に顕著であったが、
 専門性を発揮できる場面ではストレスを感じにくい
 専門性を発揮できない場面で強いストレスを受ける傾向がある
部活動指導員などの活用により改善できる可能性が示唆された